

行政の窓

道庁本庁舎1階ロビーの木質化について

道では、道産木材を活用し、道庁本庁舎1階ロビーの木質化を行いました。今後、内装に道産木材を豊富に取り入れた北海道議会庁舎と併せて、シンボリックな木質空間として効果的にPRし、市町村の公共施設や民間建築物の木造化・木質化への波及に取り組んでいきます。

道では、北海道産木材製品を「HOKKAIDO WOOD」としてブランド化してPRしています。本庁舎1階ロビーの木質化には、トドマツやカラマツ、ナラなど全て「HOKKAIDO WOOD」を使用しています。



HOKKAIDO WOOD
公式ホームページ



◆玄関ホール

玄関ホールには令和3年7月に完成していた柱装飾・エレベーター枠に加えて、トドマツCLTやエゾマツ材で作られた東ゲート、道南スギ材による西ゲートが設置されました。受付のカウンターも無垢の板材を使用し、明るい雰囲気になりました。

〔写真〕柱装飾（左）と東ゲート（右）

◆西側

コーヒーショップがある西側は、シンボリックなモチーフで惹きつけ、誰もが気軽に立ち寄り、ほっと一息つける空間がコンセプト。シンボルである樹木をモチーフにしたベンチに座ると、木陰でくつろいでいるように感じられます。S字や円形など隣の人と自然に距離を取りたくなる仕掛けが施されたベンチも設置し、「新北海道スタイル」にも配慮しています。



〔写真〕S字ベンチ（手前）
樹木モチーフベンチ（奥）



〔写真〕木立ブース（手前）
木漏れ日カウンター（奥）

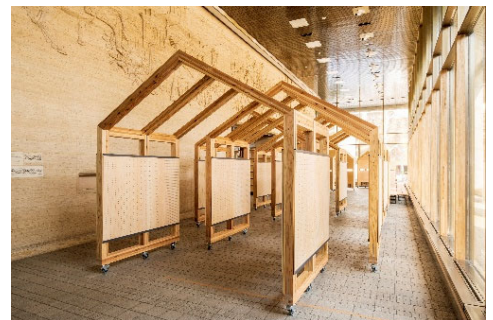
◆北側

テーブルや椅子が配置されている北側は、立ち寄った人がそれぞれの気分や目的に合わせて利用できる空間がコンセプト。フローリングを張り替え、木立を模したブースを設置しました。「北海道」を来庁者に感じてもらうため、置いてある家具は道内各地で製作したものを配置しています。また、中央にペレットストーブを設置するなど、ぬくもりを感じられる空間になっています。

◆東側

各種展示・イベントが行われる東側は、思わず立ち寄りたくなる空間デザインがコンセプト。家型の展示ブースを移動式にすることで、使用者の目的に合わせて自由にレイアウトができるようになっています。

〔写真〕家型展示ブース



広大な北海道の森林で育まれた木材を使用した道庁ロビーはどなたでも入庁可能です。お立ち寄りの際はぜひ、各ブースにも足を運び、多様な「HOKKAIDO WOOD」の可能性や魅力に触れることのできる、北海道の「木づかい」にご注目下さい。

（水産林務部林務局林業木材課利用推進係）